

景気拡大の息吹

2020年 月

ボブ・パウアー (チーフ・グローバル・エコノミスト)

後 は 期間で わり、米 は たな 拡大に
したとみられます。経済指 は、 の大半で に 復が
ま てる を して ます。 の では
ナウ ルスの 者数が 加して ますが
の ー から する り、第2 の は られませぬ。株式
市場は6月に上昇し、 でも 市場と、 テク の高
株 指数が も高 リ ーンを上 ました。株式市場は 場も
るやかな上昇トレンドを するとみられますが、 高値に
て売り圧力が ま たり、また大統領選 を前にボラティリ
ティが高まる があります。

期間で わ た 後

米 の を する 米経済 は、前 の
拡大期が2月に わ たと しました。 拡大期間は前
の 後 が した200 年6月から 2 カ月と、 長
となりました。

月にウ ルス 拡大を するために 活 の と
を める が られ、 0年 で となる
後 期が まりました。今 の 後の はその期間にも
あり、後 は 月 5月には し、わ か2 カ月と う
で を ました。

が 後の 期を と するにせ 、 たな拡
大期は に まて ます。
これは の の に てはまることで、 ー ル経済
は、 数 年で の 後 から 復し あるとみられま
す。 はパン ックに る ックダウン 市 から
に し、 の経済指 は、 経済が 2月の
から 月に 復に たことを して ます。 期に
あた 2月 の は前年 期で 5 しまし
たが、 月に急 しました。 月は前年 月 となり、5
月はさらに加 しました。 者 指数 P は
5月から し、 拡大の加 を して ます。 に
れ、 は ナ 前の の に り、6月の
は前年 月 で5月上 る ー スの が予想されま
す。

で、 の は 復が れて り、 そら に する
を で て な ことと、 での 拡大に する
道が と思われ ます。 売上高は 2月 で前年 期
2 まで みました。5月は 復しましたが、 とし
て前年 月を2 て ます。それでも、 には 復が
みられます。6月の ー ス P は 調で、予想を上 りまし
た。 統 の総合P は20 年半 の高 とな
りました。 の経済指 はわ か数カ月の間に まし
して ます。 ー が しれ 、 経済の急 復は 経済
が 後 から する となるかもしれませぬ。

月と 月に を た ー 経済にも を す
が られます。6月の P は と、 として
の拡大と の である50を りましたが、2020年で
に高 であり、月の からすれ 大 な と える
でし う。総合P は2カ月前から 5 ント 上昇して 5
となり、 月は の上昇が されます。 の リティ

ー は活 の 調な 復 りを して ます。ド の5月
売上高は前月 で 加し、2月の を上 るととも
に、前年 月 でも 加しました。フランスとス ンの5月
売上高はさらに大 な を しました。 者 は
ながらも上向 にあるとみられます。

は、 れの と 向 ラムの拡大と
う に る から、 を て ま
す。 はパン ック急 ラム P PP に る
れ を 500 ー に 上 ました。また、
条件 長期 の の 総 は
000 ー に上りました。この は、 がわ か 0
の で の し しに することがで ます。

さらに、 が数年続 て た では、 が復活
して ます。ド は 000 ー をはるかに上 る 加
の を め、 の でも が拡大して ます。
P PPに り、 の れ は ー で予想さ
れる に する になる があります。 成
ラムが に広ま たことで ー の は急上昇
を れ、5月は と 上昇にと まりました。 ー の
復は第 四半期に加 が されます。

経済は ナ の前から、 年 0月の 上
で え み めて ました。20 年第 四半期の P成長 は年
で前期 ナス となり、2020年第 四半期も
ナス22 でした。6月の 経済には2 の なる 向が られ
ました。 では、 は 月の前月 に続 て5
月も と と みました。 で、 者 は
らかに上向 て り、5月の 売上高は前月 で2 加し
ました。アッ ルの リティ ー に ると、 の活
は が続 、 月の まで 復して ます。6月の総合
P は 0 と、 として めて 調ながらも上昇して ます。
復は に まて ますが、 ー スは緩やかで、道のりは長
と思われ ます。

月と 月に 活 した米 経済は、5月に に アを
上 ました。 P は、 ー ーク、フィラ ル
フィア、リッ ンド、カン ス ティ、ダラスで また
は ラス となり、 とん が大 に予想を上 りました。5月
の 売上高は前月 と な を せ、 ンセン
ス予想の を大 上 りました。 統 が す
る 者数は前月 250 となり、 50 と
する予想を大 す となりました。6月の
者数は 0 と、 大の となり、予想の 値を
60 上 りました。5月の カ 米活 指数は、 P
成長 で 成長に相 する 大の を しまし
た。5月の経済指 が上昇トレンドとな た には、経済活
が 開し、 が 場に復 したことがあり ます。

活 からの 復は6月前半まで続 ましたが、 にな て
の 数の で の 者数が を した
ことで、 復の はやや まて ます。レストランの ンラ
ン予 ー スを する に れ、予 は
この数 間で して ます。 P が のクレ ット
ットカード の を にまとめた

ーは、月半から実際にしましたが、6月後半に急にえんてます。このーはパンックの第2をしるわではありませんが、拡大にするが続き、には間がかかると予想されます。

月に急にしたは、まるでのから上まで高レーーにたかのうに5月に急し、なみ後の復となりました。今後の米の復はを上げるうな軌道にわり、みと復がに続があります。はそうしたり場のと思われます。月のみからの復はたなをて数間続が高と予想されます。

た、経済開ののは月までにはわれ、その後の復はりになりそうです。第4半期のP成長は調で年0と予想されますが、それは緩やかな復が長期するでしょう。継続者数は高まりしてり、レフのも続てます。ースにするのをはを開せ、P成長と者数がナ前のークを試すのは2022年になると思われます。

それにもかかわら、はえされてり、者数は大に加し続てます。は調に復調を続、202年の成長は25かそれ上のとなり、年にかてやすると思われます。

し

で、ナにするのみからしのがんでるうです。のにンドと米はとして、れてまた拡大のにわれてます。た、レートでり上たーは、そのの大半の復がまてることをしてます。

はににりんであり、者にると、は急に復してます。のはのパーンをするがあります。と経済指は上れとうッサーをしてます。株式市場は復がまれ、四半期として20年間でもな復を予想してます。

はレルたり0ドルに上昇し、は月のから2上昇、指数は月に上昇してます。ルームーのイティ物のード指数は月のから0上昇し、ルック指数は5月半の5となてます。

場にが上向とのしは実があるうにえます。のは、ウルスの第2がンフルン期のからにかてなるがあることでしょう。されるのは、がトラックしてると、者がになたはなとう実です。にも、ナにするのはのをとてるです。第2にる経済のは2020年ではなと思われます。

市場向

6月は大半の株式市場と市場が調にしました。S&P 500指数は上昇しましたが、米の株指数がそれを上りました。Sーンーットンックスは0上昇、Sールカントリーールドンックスは上昇しました。6月のリーンはままでしたが、第2四半期をてらしとなりましました。S&P 500指数は5上昇し、年第4半期の大なとなりましました。がトラックするの株指数のう、したのはンルトツ20指数のみでした。市場がにる大なにえされる、も総て市場からをました。第2四半期にク

レットスレッドがにするのに、ールドやそののしたたし、りリスクの高にするフンドのは、調なりーンを上ました。である長期の、6月と第2四半期にりがの上昇にとまたため、リーンはラスとなりましました。

今後のし

期のは、をめるにる上をするはなでしょう。ンフレがするとは考えに、が202年を0.025のレンにえことは実と思われます。

にる大なをて、米、ド、のりには年めにかて緩やかな圧力がかかるしです。しかし、りはにめてかナスにあり、向こう2年にとするはさため、大なりーンを期するはなさそうです。加えて、経済が復軌道にるのに、りはに大な上昇圧力にさらされると思われます。そのため、である長期のはするでしょう。

、の広野でりが高なてます。のすレッドはに大にしてるため、さらなるスレッドのトにるリーンのはです。ールドやのクレジットスレッドはとしてのがあるため、これらのセクーをりも選します。たし、これらの高リスクセクーでは力の高のをし、また、年の長期の上昇リスクをするため、期の期を選します。

株式市場では6月に物色の裾野が広がりました。ラッセル2000指数は急騰したナスダック総合指数と概ね歩調を合わせて上昇し、6月と第2四半期にS&P500指数をアウトパフォームしました。市場参加者の拡大が実際に相場の上昇継続の条件であり、経済の成長軌道は継続すると思われるため、株式市場は緩やかな上昇トレンドが予想されます。S&P 500指数は向こう数カ月間に今年2月の高値を試す展開も考えられますが、その後は売り圧力にさらされるとみられます。米大統領選を前にボラティリティが復活するかもしれません。

が上向のに合わせてもなパフォーンスが期される、また、株、株式の選をします。セクーとも6月は調となり、なパフォーンスが続すると思われます。ドル、の復向、イティの上昇はれも、株式を選するなとなるでしょう。6月にテク株とース株が大上昇したには、米での者数の続な加をめるがあたかもしれません。はテク株のンムは後すると予想してましますが、6月はまこれをる展開はられませんでした。たし、テク株はラッセル2000指数やS指数にると、に上昇のはまてます。

これらのは実にカ月間を期間とするなものです。経済の復をに、株式市場はなともは上昇調が続はです。年にかての復の力さにしてはのがあり、第2がるれもあります。

さらにそのを展すると、株式のリーンとのはかなり高で、長期のリーンはえなものとなるがあります。長期に株式で調なりーンを上るがも高のは、0年間のとはにリー株や株のーテーンのを活することです。

今のところは復軌道にあるで、のリスクに合わせてンを大にすることがとを考えます。はしてられるでしょう。

の予は成にるであり、予なされることがあります。またこりうる実やしをするものではな、実際の実はここにされるものと大なる場合があります。

Disclosures

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものです。本資料は、特に記載がない限り、資料作成時点でプリンシパル・グローバル・インベスターズ（以下、「PGI」）及びグループ関連会社において信頼できると考えられる情報源に基づいて作成された英文の訳文です。本資料と原文の内容に齟齬がある場合には、英語の原文が優先されます。適用法令で規定されるものを除き、本資料中の情報・意見等の公正性、正確性、妥当性、完全性等を保証するものではありません。本資料は一般的な情報のみを含んでおり、あらゆる投資家の投資目的及び経済状況を考慮しておらず、特定の投資助言や推奨、ないし、一般的な市場等に関する将来の投資成果を示唆または保証するものではありません。本資料中の見解及び予測等は本資料作成時点のものであり、事前の予告なく変更される場合があります。特定の投資や有価証券に関するあらゆる言及は、売買または保有等を推奨、示唆するものではありません。

いかなる場合にも、PGI 及びグループ関連会社、またその役職員等は、本資料及び本資料中で提供される情報やデータの誤り及び内容に起因して発生した損害については、一切の責任を負いかねます。

本資料は将来の予測情報を含みますが、完全な史実に基づくものと見做すべきではなく、それらの予測が将来実際に起こる保証はありません。また、投資に関する完全な情報が記載されているものとして依拠されるべきではありません。

本資料中の情報は、弊社の文書による事前の同意が無い限り、その全部又は一部のコピーや配布はご遠慮ください。

プリンシパル・グローバル・インベスターズ株式会社

〒100 0011 東京都千代田区内幸町 1 1 1 帝国ホテルタワー

電話：03 3519 7880（代表） ファックス：03 3519 6410

代表者：代表取締役社長 板垣 均

ホームページ：<http://www.principalglobal.jp>

金融商品取引業者登録番号：関東財務局長（金商）第 462 号

加入協会：一般社団法人 日本投資顧問業協会

一般社団法人 投資信託協会